①
昭和35年2月10日発行
第53号

徳地町報

発行所　徳地町役場
発行者　徳地町
編集者　河村績
印刷所　今澄印刷所

町報が今年で連続三年、県の広報コンクールで入選しました。ご協力を感謝しますとともにあなたも共通の町政公開の広場を、明るい町造りのベルトとしてぞんぶんにご活用ください。

昭和33年度　決算のあらまし

町の財政は、家庭についていいますと、家計に相当するものです昭和33年度の決算、すなわち町の台所の実際をお知らせするとともに今後の町政運営について、いつそうのご理解とご協力をお願いいたします。

昭和33年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入決算額1億8千835万4千余円でした。これに対する歳出決算額は1億8千707万8千余円となり、差引127万6千余円が翌34年度へ繰越されております。

まず円グラフをごらんください歳入決算の主な内訳を財源別に見ますと、国、県からの補助金、いいかえますと国県補助金、県補助金、地方交付税などが、6639万7千余円となつています。

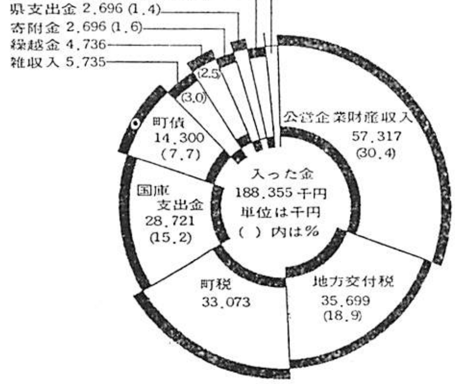
町自体の財源では、町税、使用料、手数料、雑収入、負担金、財産収入などで、1億695万8千円で残りの1400万円程度が、長期借入金となつております。

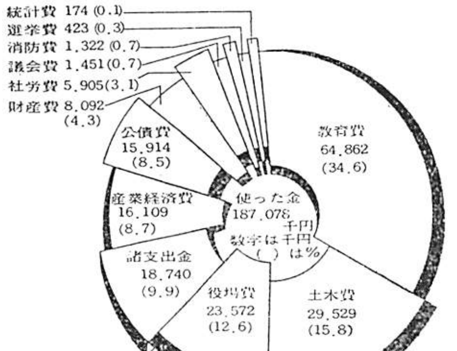
歳出決算

歳出の一位は教育費で、歳出総額の34%を占めていますが、これは八坂中、堀中の建築費が約4870万円程度にのぼつており、ついで災害復旧（土木）2000万円、災害復旧（耕地）650万円、林道開設費270万円、造林費300万円などがその主なものです。

歳出、歳入決算のあらましを報告いたしましたが、なんと申しましても地方自治の円満にして迫力のある進展をはかるためには、住民一人一人の深い理解と協力なしには、成り立たないのです。

こうした意味あいからも、前途きわめて多難の町財政に深い関心を寄せられ、それぞれの立場からご批判とご協力をいただきたいものです。町としましては町民福祉の増進と町勢の限りない発展に、不断の努力をいたします





徳地町議会

33年度決算　一億八千707万八千余円

滑診療所の開設などきまる

昭和三十五年臨時第1回町議会が、二月一日午前九時から開かれました。この議会の主な議案は、昭和三十三年度の決算の認定を求めたもので、決算総額は歳出、一億八千七百七万八千二百十円で、これに対する歳入決算額は、一億八千八百三十五万四千七百二十七円で、一般会計においては差引、百二十七万六千五百十七円の黒字決算となつています。

その外、今まで国民健康保険直営診療所といつていたのが、厚生省告示に基いて徳地町国民健康保険××診療所となまえが変り、新しく滑診療所の開設が議決せられるなど、その主なものでした。

昭和三十五年臨時第1回町議会は、二月一日公民館で開かれましたが、当日出席議員二十五名（一名欠席）町長、助役、収入役、総務課長ほか関係参与が出席して、つぎの議案を審議の上、町長提出原案どおり決定されました。

本会議が終つてから、引続いて協議会にうつり、さし当つての重要諸問題について意見の交換が行われました。

当日の議案は

▽徳地町国民健康保険診療所の開設について。

徳地町大字野谷五二五番地に徳地町国民健康保険滑診療所を開設するもので、これは国有林をひかえた滑地域の主として山林労仂者と、周辺住民の医療環境の改善のため、特に山口営林署の要請で、二月一日より町営診療所を開設しようというわけです。

山口営林署は、必要な建物を無償で町へ貸し、看護婦の給与も全額負担し、その上医療機械や必要経費の大部分を負担することになつております。

町は診療報酬と需要費の一部を負担することになつています

医師には、石谷文（八坂）さんにお願いし、毎週火、木、土の三日、出張診療に当られます。

なお事務のつごう上、二月一日開所となつていますが、実際には二月中頃から診療が始められるようになりましよう。

▽徳地町国民健康保険診療所条例中、一部を改正する条例について

いままで、直営診療所といつていた名まえを、徳地町国民健康保険診療所と改められました。

▽徳地町国民健康保険（特別会計）歳入歳出追加更正予算

これは滑診療所開設に伴なう二月三月分の追加で、十万余円の増加になつたものです。

▽昭和三十三年度一般会計および特別会計（国保）の決算認定について。

昭和三十三会計年度の決算内容は

歳入予算額、二億百五十万円でこれに対する歳入決算額は一億八千八百三十五万四千余円で、差引歳入減少額は、一千三百十四万五千余円となつております。

歳出決算総額は、一億八千七百七万八千余円になつており、差引、一千四百四十二万一千余円の歳出減で、差引百二十七万六千余円が、昭和三十四年度へ繰越されることになり、いわゆる黒字決算となつています。

（くわしいことは、グラフをごらんください）

▽昭和三十三年度特別会計（国保）の決算のあらましは

事業勘定において

歳入予算額、一千八百万円余これに対する歳入決算額は、一千七百二十万四千余円で、差引歳入減は、七十九万五千余円となつておりこれに対する

歳出予算額、一千八百万円余の内、一千七百二十万三千余円の歳出決算でした。

結局、事業勘定においては、一千余円の黒字となります。

直営勘定においては

歳入予算一千六十四万四千余円で、歳入決算額は、九百五十二万余円で、差引予算に対する歳入不足分が百十二万四千余円となつています。

歳出決算は、歳出予算一千六十四万四千余円に対し、歳出決算額は、九百七十三万二千余円で差引九十一万二千余円の歳出減となつています。

その結果、歳入決算の歳入不足額二十一万一千余円は、翌三十四年度歳入を繰上充用して、歳入不足を補つています。

▽町有林立木売却について町議会の議決を求めることについて

大字島地字宮河内外数箇所にある町有林立木の一部売却の議決がなされたものです。

▽靖国神社の国家護持に関する決議について（議員提出）

国民崇敬のまとである靖国神社は、国家において護持すべきだという決議がなされ、関係方面へ送られるわけです。

☆　☆　☆

カロリー、栄養とも充分

伊賀地小の十七円の給食

写真（上は、一生けんめいのおかず作り
下は、おいしく食べている子供たち）

寒い冬中、子どもたちは毎日の冷たいお弁当に、体をふるいあがらせます。夏もまた少し油だんすると、ごはんやおかずがいたんだり、どこの家庭でも子どものお弁当は、頭痛のたねでしよう。今年は、堀、島地小学校でも昼食だけは学校の完全給食しようというので、給食施設が作られています。そこで今月は、昨年二月十九日施設々備ができあがつてから、ずつと完全給食を行つている。町立伊賀地小学校（校長古谷実栄氏）をお尋ねして実際のありさまを見せていただきました。

一回一人当り六〇〇カロリー

伊賀地小では現在一七五名の児童がいますが、栄養面からみても完全給食で六〇〇カロリー（熱量）以上が与えられており、しかも各種の栄養素をふくんでいるため、その吸収率もひじようによくあわせて、偏食をなおす指導にも役立つているようでした。

こうした点は、家庭からの弁当ではなかなか望めないことでしよう給食の主食は、パンで平均一人当り一〇〇gそれにミルク〇、二ℓぐらいと、おかずは毎日、定められた「献立表」にしたがつて給食係の中山先生の指導で、給食婦さん一人と、お手伝いのPTAのお母さん方二人の手で、清潔においしい、カロリーや栄養に富んだお料理が作られていました。

明るく、楽しく、ほがらかに

食事と、しつけには、道徳教育的な面も加味された指導精神をモットーに、食前食後の手洗いや子ども特有の「すなお」な気持ちで食物じたいやこれを作る多くの人々に感謝の気持をあらわすことば〃よくかんでいただきます〃ということで、いつせいにはしをとつていました。

このようなことはほんとうに小さいことですが、こうしたことがらの一つ一つを、学校給食を通じての教育手段として、積み重ね団体生活では、秩序を守ることの大切さを、道徳教育の一環として、心身ともに習慣ずけていくことは、子どもの将来に大切なことがらの一つでしよう。

また、食べる際の雰囲気も、常に明るい、楽しい、朗らかな、たれにえん慮もいらない、なごやかな中で、先生も、生徒もいつしよに愉快な食事のできる喜びを味わう……この気持を助長してゆきたいものと感じました。

父兄の負担額は

現在伊賀地小の生徒一人当り一回の給食費は、十七円です。

それでは、一人当り一回、十七円でどんな昼食が食べられているか……訪問時の二月二日の献立から、参考に書いてみますと

主食は、パン（リバーA入り）一〇〇gにミルク約〇、二ℓで副食は、豚肉（二〇）もやし（三〇）とうふ（四〇）にんじん（一六）ねぎ（二三、五）こんにやく（一〇）白菜（一〇、五）マーガリン（三）しよう油（七）砂糖（二）塩（〇五）脱脂粉乳（二二）でカッコ内の数字はグラム量）となつています。これだけの材料を使い、この金額では、家庭での調理はとてもできないことでしよう

生活改善

話しあいから改善へ

生産の向上へむすびつける

一月二十八日に、中学校調理室で生活改善グループの料理講習会が行われ、各地区から約五〇名くらいのグループ員が集つて生改普及員から、熱心な講習を受けました。

農家生活の改善は、近来いろいろのグループや団体また個人でも取りあげられていますが、中でも食生活の改善が、一番おくれているようです。

たとえば、農家の食生活は、主食は必要量以上とるけれども、副食にはあまり考慮が払われていないという実情ではないでしょうか。

生活の改善ということからいえば、衣食住の全般にわたつて、なに一つ取り残すことなく、並行して進めたいものですし、また単にこれらの改善が、改善だけに止らずに、改善された生活がどれだけ農業生産性によい結果を与えたかも、よく調査研究して、さらにグループで、問題点を見つけ出して話しあいによる、解決の方法を見つけ出し、実行の計画を立てることが必要ではないでしょうか。

当日の講習では、ギヨウザ、揚げ卵、味そスープのこしらえ方の実習の後、午后から調理の際のように五～六人の小グループで粉食にふみ切れない原因……についての話しあいが持たれていましたが、その進め方もおのおの小グループからいろいろの問題を出しあい、これを整理して話しあうという方法がとられていました。

この方法は、話しあい活動のごく基本的なやり方で、いきなり多数の人に対して、問題の提出を求めても、なかなか出てこないものですが、こうしたやり方をしますと、ひじようにたくさんの問題が提出されることがわかります。

その際、問題というのは、だれもが、いつときも早く解決したいと考えているようなことがらを見つけ出すことが大切です。

ですから、たとえば粉食の問題にしても、その必要性は、だれもがいちおうよく分つているわけですので、その普及進歩をはばんでいる主な原因が、どういうところにあるか……というように、問題の重点をはつきりさせ、これに対する解決方法を見つけて、その実行計画をたてるという、話しあいの進め方が研究せられていました。

これからの生活改善は、こうしたグループの人々が、その中心となつて地域の実情に適合した解決方法を推進して、成果を揚げていかれることが、ひいては新しい町づくりの基となるのではないでしょうか。

米作り県一に入賞

収量賞に井原巖さん

一〇アール当り七二五、九キロ

米作日本一の山口県競作大会で徳地町大字島地字蔵垰の井原巖（四八）さんが、栄の入賞で、文字どおり米作り山口県一に選ばれました。

井原さんは、反当七二五、九キログラム（四石八斗八升九合）で昨年一位の六七二、九キロ（四石四斗九升）をはるかに上回る好成績を収められました。

井原さんは、三十年に増産推進賞、三十一年県二位、三十二、三十三年三位と連続入賞していますが今回は五回めで、念願の県一を獲得されたわけです。

深耕、健苗、多肥で

井原さんは、安全性のある多収穫といういき方をしているのでなかなかむずかしい。

ただ一度だけ県一になるのだつたらその方法は簡単だが、この競作会に出るおかげで、自分はもとより、地区の人たちまで、年を追うて収穫が多くなりつつあり、これが一番うれしいといつています

多収穫の秘訣はなんといつても「不可能を可能にする」ことだともいつています。

田んぼは、一定の施肥量があるけれども、まず地力を高めるためには、できるだけ深耕をすることが大切だそうです。

つぎには、健康なよい苗を育てて植えること、そして肥料は、施肥定量をこえた、数倍の肥料を入れます。

この肥料をうまく吸収させて最後まで根を強くしておくため、水のあてかげんに苦労したそうです

昔から「稲は三黄する」といわれていますが、苗代、幼穂前、取り入れ前には、かならず黄色になるように操作しています……と語つています。

子どもの夜間外出に注意

こんないなかが危い

こどもたちの夜間外出は、とかく問題を起しやすいものです。

ことしの正月にも、宮参りの帰りに、女の子がいたずらされたり殺された例がありました。

近ごろは、都市部での取締りがきびしくなるに従つて、こうした犯罪が、農村へ移つてきたといわれています。

まだ日の短かいこのごろ進学準備や学芸会の練習などで、子どもたちの夜の外出や遅帰りが多くなると、これをねらつて、物取り暴行いたずら、はては殺されるという悲劇が起らないとは限りません。

「こんないなかで、そんなことは起るまい」なんて考えることは絶対に禁物です。

夜、外出のときは、必らず父母のどちらかが同伴し、子供だけで出ることのないようにしましょう

途中は全員がそろつて行動し行き帰りの道順や、およその帰る時間なども家族のものに連絡しておきましよう。

持ち物もできるだけ少く、いざというとき身軽に行動できるよう心がけておきたいものです。

また金も必要以上は持たないことが必要です。

殺したり、暴行したりする程の心はなくても、ただ好奇心から一人歩きの子供にいたずらするものがありますが、青少年の補導には家庭も、部落も、明るい環境をつくつていく努力をしたいものです

大原湖へ源五郎ふな五万放流

一月二十日、大原湖に源五郎ふな約五万尾を放流しました。

今まで大原湖には、ワカサギの種卵千三百万粒、ます稚魚五万尾、源五郎ふな一万尾、うなぎ稚魚を一貫匁、アユは毎年一万尾ぐらい放流しています。

毎年春から秋にかけては、大公望のいこいの場所で、うまい人は一日十数尾の鯉を釣りあげています。

（写真はふなの放流）

農協総会……こんな持ち方はいかが

今年ももうすぐ農協の最大行事である農協総会が開かれる時期がきます。

そこで農協の役職員や組合員が留意したい総会の持ち方、進め方、について考えてみることにしましよう。

▽総会が単に紋切型やお祭り行事に終ることのないようにしたいものです。

▽組合員が組合の内容や、今後の組合のあり方について、卒直に意見をのべ、一人一人の意志を組合中心に結集する。唯一の機会ということを、組合員の身になつて充分考えてほしいものです。

▽事業の方針や計画、収支予算その他の議案を作るにも、その背景となる一般経済事情や個々の組合事情をよく知らせるとともに、基礎となつた数字もわかりやすく説明することが大切でしよう。

▽総会の会期までに、できるだけ早く、資料を配つて、組合員の理解を得ることに、多くの時間をかけてほしいものです。すなわち、議案の内容をよく理解してもらつて、協力する体制をとつておくことが大切です。

▽組合員である農家の方の考えなければならないことは、現在の農村経済の現状は、生産者である組合員の一人よがりでは生産力の向上も、生活改善も、効果があまり期待できない現状にあつて、協同活動でなければよい効果があがらないことを認識していただきたいものです。

組合員である農家の営農上の計画や、生活の設計がそのまま積み重ねられ、組合員の営農の改善と生活の安定向上に努めて、組合員の収益を守つて事業を進めていくのが農協です。

年一回の総会には、どんなに忙しくても必らず出席して、わが町の農業のあり方、農協の進むべき方向や運営のしかたなどを真剣に討議して、充分の成果と発展が期せられるよう努めたいものです。

（広報研究資料による）

お手軽料理メモ

なんといつても食事は、人生の重大事です。

そこでこの号は、ちよつと目さきをかえてみました。

八宝菜者

材料……鯨肉、玉ねぎ、白菜、長ねぎ、もやし、にんじん、油、片栗粉。

作り方……

イ、鯨肉は適当に切り、立塩に玉ねぎを多いめに、すりこんだ中に二～三分間つけこみます。

ロ、鍋に油を煮立てて、その中へ鯨肉を入れていため、その中へ野菜を適当に切つて入れて、さらにいため、スープをしたしたぐらい入れてよく煮込み、モヤシを入れて火が通つたら塩で味付けし、片栗粉の水ときを加えて、温かい内に食べます。

ハ、マカロニを適当に入れてもよいのです。

ロール、キャベツ

▽材料……一人前

鯨肉六グラム、キャベツ二枚 人参少々、玉ねぎ小、$\frac{1}{5}$個 馬鈴薯小一個、油は大さじ一ぱい半、メリケン粉二〇グラム 片栗粉少々、卵$\frac{1}{2}$個

▽作り方

1. 鯨肉を挽肉機で挽き、卸し玉ねぎ、塩、こしように三十分ぐらい漬け、マーガリンで半いためし、生卵をまぜておきます

2. キャベツは、さつとゆでてやわらげ、片栗粉をまぶして前の材料を包み、蒸して後適当に切り、好みのソースで食べるのです（キャベツのゆで汁で煮込んでもよいものです）

3. 人参、馬鈴薯は、やわらかくゆで、肉に盛りあわせてもよいのです。

魚料理のコツ

どんな食品にも、料理のときちよつとしたコツがあるものです

1. 魚は塩水で洗うか、うす塩をしてから洗い、切身にしてから洗つてはいけません。

2. 焼く場合は、三〇分前ぐらいに表、裏に塩をふりかけておきます。

3. 新しくない魚や、身のやわらかい魚は、一時間前後、うす塩[illegible]

4. 姿をそのまま焼くときは、魚の水気をよくふきとり、酢をさつと一ぬりしてから、化粧塩をしてやくと、皮がむけたりなどしません。

朝鮮漬のつけ方

白菜のおいしい季節に、栄養が豊富で、食べて体の温まる、簡単な朝鮮漬のつけ方を書いてみましよう。

材料……白菜一八キロ、塩四から五デシリットル、水一、八リットル、それに干えび、塩魚、昆布、ねぎ、しようが、せり、にんじん、とうがらし、にんにくなどを合せた量が白菜の三分の一ぐらい用意します。

漬け方……中ぐらいの大きさの白菜を一～二日間、しんなりする程度日に乾しておきます。

用意した水に塩を加え、干えび、塩魚、昆布をいれて煮出し、火からおろしてさましてから、これを取りだして細かく刻んでおきます。

そして、ねぎ、しようが、せり、にんじん、とうがらしを細かく刻んで前の魚や昆布と合せます。

白菜はきれいによく洗つて、葉を外側へ一枚一枚開き、さきにまぜておいた魚や野菜を、白菜の芯から順に、一枚一枚の葉の間にふり込んで、大体元の形に整えて、葉の皮を小さくさいたもので、まわりを軽くしばり、つぼに並べて煮出し汁を白菜がかくれる程度入れ、押ぶた、軽い重石をしておきます。こうして二週間后ぐらいから食べられます。

食べる時は、白菜を丸のままとり出し、軽く汁をしぼつて、二センチぐらいに小口から切ります。

香辛料は好みでかげんします。

林業従事者へ

労災保険を

山で伐採などの仕事に当つている方で、労災保険に入つていない方はありませんか？

労災保険に入つていないと、けがや病気をしても補償がないので、事業主の方は、労働基準法により、自力で補償責任を負うことになります。

労災保険は、他人を雇つて仕事をすれば、当然加入しなければなりません。

あなたの山でも、この保険に入つているかどうかもう一度確めてもしまだでしたら、自発的にすぐ加入の手続をとつてください。

加入手続は、林業改良指導員へお尋ねください。

保健婦の学生募集

山口市相良小路に、県立保健婦専門学院が新設せられ、四月一日開校せられるので、二月一日～三月十五日までの受付期間で、入学希望者二〇名を募集しております。

くわしいことは、返信料を同封して、県庁内衛生部医務課気付で学校宛に問合わせください。

贈与税の申告と納税

二月は、昭和三十四年分の贈与税の申告と納税の月です。

昭和三十四年中に、贈与を受けた財産（不動産、有価証券、預貯金など）の価額が、二〇万円をこえる人ですが、この税金は、同一の人からの贈与は、三カ年間にわたつて計算されることになつていますので、注意してください。

税金のおおみそか

確定申告は期限内に

確定申告は税金の総決算です。二月十六日～三月十五日までが申告期間になつており、その間に申告しないと、扶養控除などが認められません。

税務署では、つぎの日時に出張してご相談に応じますので、その機会を御利用ください。

二月二十五日　八坂、柚野、串の三支所および島地農業協同組合

二月二十六日　出雲公民館

固定資産税

固定資産税第４期分の納期は二月二十九日までです。納期限をお忘れなく、早めにお納めください。

ネズミをとろう

町でもネズミくじ発行

一月号でおしらせしたように県では、ネズミの駆除運動を行つていますが、町でも「ネズミ取りの薬」を町費半額補助であつせんしております。

また捕殺ネズミ一匹について一枚のくじを発行し、一～２等までの賞品を準備しており、期間中に成績のよかつた部落にも賞品を贈ることになつています。